



波立ちまく竹島

韓国も欲しがる領海と漁業の根拠地

○：領土権問題で日本と韓国との間に紛争が生じ、去る十二日にはついに韓国側官憲が日本の海上保安庁巡視船に猪欄するという事件がおきた竹島問題に關し、日本政府では事件の翌日在日韓国代表部に対し厳重抗議を申し入れるとともに日本領土であることの歴史的な根拠を發表。また韓国側の出方では国連提訴、ヘーグの國際司法裁判所への提訴、または米英に仲介依頼などによる解決を政府では考慮しており、日本海上無人の「孤島」は複雑な國際問題をほらんで果然大きく浮びあがってきた。

○：竹島は北緯卅七度九分、東經百卅一度五十五分、隠岐島北西八十六カイリにある小島で東島、西島の二小島と數十の岩礁とで成り立っており西島は百五十七メートルの峯で周囲約二キロ、東島はほぼ同じ大きさだが西島よりやや低くなだらかである。島の周りは断崖で、草木は生えず、飲料水がないので人は住めないが、アシカの群生地であり、日本海でも魚介類の宝庫といわれる海域にあるので重要な漁撈根拠地となっている。

○：領土としてはけしつぷのような無人の小島だが、日本海の荒



波のなかで漁撈するにはもってこいの基地であり、三マイル以内が領海という國際法上からも同島を領土とし自由に海の幸を確保したいものと韓国側では垂涎の的にしているものとみられている。写真は十二日朝巡視船「へくら」が銃撃をうける直前に同船乗組員が撮影し、海上保安庁へ送ってきた興味

ある当日の「日韓会談」の有様だ。

写真
① 竹島全景、へくらが島に七〇〇メートルまで近づき撮った写真で帰ろうとしたとき中腹(×印)から銃撃をうけ、二カ所に被弾した。船は会談を終えて帰る大成号。

② ニコニコで話す「へくら」乗組員と韓国遊民 このあと銃撃をうけた。

③ 「へくら」船長室で互に領土権を主張する柏博次(海上保安部長)と(左)韓国側崔憲植(憲兵部長)と(中)慶尚北道警察局長(主査)Ⅱ氏(名不明)と(右)会談は一時中断された。韓国船大成号には自動小銃一、軽機一が装備されていた。